

夢と希望を未来へ

令和5年度施政方針と予算のあらまし

詳しくは☎財政課☎788-4905

2月20日(月)から開催された3月定例会市議会で、令和5年度当初予算案が可決されました。

予算総額は、一般会計、特別会計、公共下水道事業会計を合わせて431億5,283万9千円で、前年度に比べると4.3パーセントの増額となっています。

令和5年度 施政方針 (要旨)



桶川市長
小野 克典

市民の皆様から信託を頂き、市政3期目の重責を担わせていただ

いてから、折り返しとなる3年目を迎えるとしております。この間、新型コロナウイルスの感染拡大が生じ、現在に至るまで国の経済のみならず市民生活にも多くの影響を与えました。そのような状況ではございますが、多くの市民や議会の皆様の御指導、御協力を頂きながら、職員と一丸となってコロナ対策や将来に向けたまちづくりに全力で取り組んでまいりました。

本市の財政状況につきましては、依然として大変厳しい状況が続い

ており、少子高齢化社会の進展を背景に社会保障経費や公債費などの義務的経費が増加するとともに、経済状況の変化に伴い、光熱水費や委託料などの経常経費が増加し、さらに今後は、ごみ処理施設整備など多くの財源を要する事業も控えております。

令和5年度の市政の運営に当たりますには、このような厳しい財政状況の中にあっても、子ども達の教育環境の充実を図るため、小学校におきましては、熱中症対策としての体育館空調設備等の整備に取り組みとともに、通学路安全対策事業、また、市内4校全ての中学校のプール授業の民間委託を実施するなど、子どもが輝き、安心して学ぶことのできる教育環境の整備を推進してまいります。

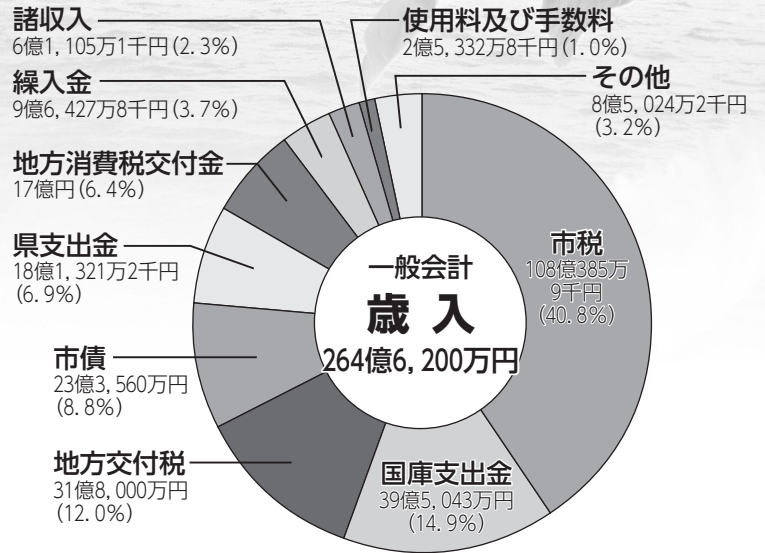
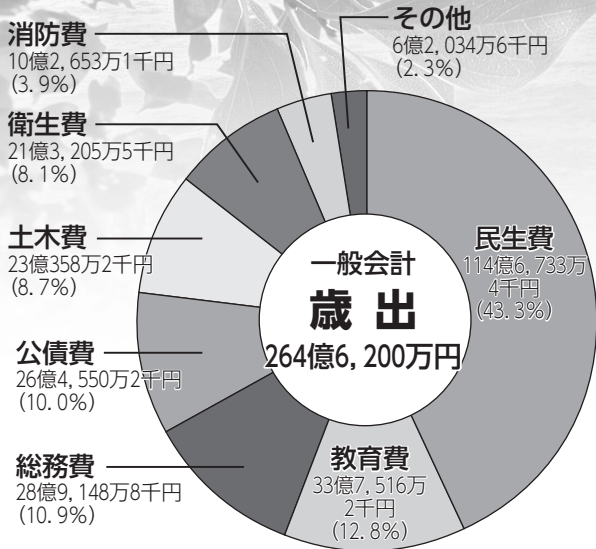
また、令和5年度は「桶川市第六次総合計画」がスタートします。

総合計画は桶川市の今後10年間の方向性を示す市の最上位計画となり、先程の子育てに関する施策を含め、「安心安全で利便性の高いまちづくりの推進」、「こどもが輝き、安心して子育てができるまちづくりの推進」、「高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくりの推進」、「にぎわいや活力に満ちあふれる元気なまちづくりの推進」そして「新たな時代に向けたまちづくりの推進」を、5つの重点分野として位置付けております。

これら5つの重点分野の施策や事業への取り組みと、総合計画に示された基本構想の実現に向けて、引き続き「夢と希望を未来へつなぐまちづくり」に必要な施策をスピード感を持って取り組んでまいります。

今後とも、市民の皆様の一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

当初予算のあらまし



会計別の予算

(単位：千円)

会計名	予算額	前年度比
一般会計	26,462,000	4.9%
特別会計	国民健康保険特別会計	7,295,000 △1.0%
	介護保険特別会計	6,468,000 8.0%
	後期高齢者医療特別会計	1,342,000 4.2%
公共下水道事業会計	1,585,839	5.6%
合計	43,152,839	4.3%

小数点第2位を四捨五入

一般会計内訳

歳入

歳入総額は、264億6,200万円で、前年度より4.9%増加しています。

歳入で最も多いのは、市税（市民税、固定資産税など）で40・8%を占め、108億385万9千円を見込んでいます。次に多いのが国庫支出金で39億5,043万円となっています。以下、地方交付税、市債、県支出金、

歳出

歳出総額も歳入と同じ264億6,200万円です。

歳出で最も多いのは、民生費の114億6,733万4千円で43・3%を占め、次に、教育費33億7,516万2千円、以下、総務費、公債費、土木費、衛生費と続いています。

今年度の
主要事業を
お知らせします

生きる力と豊かな心を
育む 桶川

【教育・文化】

●学校プール民間委託事業

1,685万7千円

中学校のプール授業を民間の屋内施設を利用して行うことにより、天候に左右されない安定的な水泳授業を行います。教員とインストラクターの指導による生徒の泳力向上と安全な授業の実施、長期的なプール維持管理経費の削減を図ります。令和5年度は市内全中学校の全学年で実施します。

●教育相談充実事業

1,363万4千円

特別な配慮が必要な児童生徒など、一人ひとりの状況に応じた適切な教育的支援を図るため、各中学校の学習支援室に専任職員を配置します。また、教育センターの専任相談員を

増員し、相談体制の充実を図ります。

か月児健診の対象乳幼児の保護者に対し、各健診の受診時に商品券（乳幼児1人につき1万円）を支給します。

●成人歯科健診事業

264万円

●体育館空調設備整備事業

3億5,270万円

近年の記録的猛暑などを鑑みて、市内すべての小・中学校の体育館に空調設備の整備を行います。令和5年度は桶川小学校、加納小学校、川田谷小学校、桶川西小学校において設置工事を実施し、桶川東小学校、日谷谷小学校、朝日小学校において設計を実施します。

現在実施している成人歯科健診（妊婦・20歳・60歳）の対象に、歯が失われ始める時期である40歳の人を追加し、う歯や歯周病を早期発見し、治療に結びつけることで市民の健康の更なる保持増進を図ります。

●出産・子育て応援事業

5,445万2千円

妊娠・出産期の経済的支援として、妊娠時および出産時にそれぞれ5万円（合計10万円）を支給します。

●合理的配慮支援事業補助金

30万円

障害者差別解消法に基づき、「合理的配慮」の提供を行う事業者に対し、用具作成、物品購入および改修工事に要する経費の一部を補助します。

●リトルベビーハンドブック

8万円

●川田谷生涯学習センター大規模改修事業

8億3,799万8千円

保護者の心理的支援のため、低出生体重児の成長や発達を考慮した母子健康手帳のサブブックとして「リトルベビーハンドブック」を作成し、保護者に配布します。

●成年後見制度利用促進事業

304万5千円

川田谷生涯学習センターの老朽化に伴い、令和4年度から2か年の継続事業として施設の大規模改修を実施し、施設の長寿命化と利便性の向上を図ります。

●育MENクラス事業

36万7千円

育児休業を取得する予定の男性を支援するため、育児休業中に生かせる育児、家事を学ぶ「育MENクラス」を開催します。

成年後見制度の利用促進を図るため、関係機関との連携、支援強化などの役割を担う中核機関を新たに設置します。

●南小跡地等活用調査事業

350万円

共に支え合い いきいきと暮らせる 桶川

【健康・福祉】

●食育推進事業

83万5千円

●子育て世帯応援ギフト事業

1,470万円

子育て支援の一環として、4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳3

食を通じた健康づくりを推進するため、女子栄養大学と連携し、生活の実態把握および分析を実施し、地域の食生活課題の解決に向けた地域の食育の推進を図ります。

●総合福祉センター昇降機改修事業

3,700万円

老朽化に伴い、総合福祉センターの昇降機の改修を実施します。令和5年度は、昨年度に実施した設計に基づき、改修工事を実施します。

●いずみの学園整備事業

1億70万円

開園から48年が経過したいずみの学園の移転整備を行います。令和5年度から2か年の継続事業として実施します。

●駅東口整備事業

1億27万7千円

駅前広場や駅東口通り線などの整備を進めながら、安全で、にぎわいのある桶川駅東口周辺地区を目指し

【安心安全 都市基盤】

安心して暮らし続けられる 桶川

ます。令和5年度は「駅東口駅前広場」の整備のための用地取得および市道11-1号線（仲仙道線交差点付近）の整備のための無電柱化詳細設計を実施します。

● 駅西口トイレ整備事業

350万円

駅西口トイレは38年が経過し、施設の老朽化が進んでいることから、施設の整備を実施し、利用者の利便性の向上を図ります。令和5年度は新たに建設するための設計を実施します。

● 駅西口公園リニューアル事業

2,700万円

公園利用者などから寄せられた意見や要望を基に、駅西口公園の水施設のリニューアルを行います。令和6年度までの2か年で実施し、令和5年度は、既存の水施設の一部にクライミングウォールやミストポールを設置します。

● 通学路安全対策事業

400万円

市内小・中学校などの通学路の交通安全を確保するため、通学路安全総点検に基づく危険箇所について、安全対策を実施します。令和5年度は北一丁目地内の通学路の道路側溝

に蓋を設置します。

● 道路照明灯LED化事業

3,900万円

令和3年度より整備を開始した道路照明灯のLED化を引き続き行います。令和5年度は西側地区でLED化工事を実施します。

● 止水板設置費補助金

150万円

台風や豪雨などによる家屋などの浸水被害を軽減するため、浸水被害が発生した区域または発生する恐れがある区域において止水板の設置を行う住宅、店舗、事務所などの所有者などに対し、補助金を交付します。

● 愛宕東線整備事業

2,610万円

愛宕東線の整備を実施します。令和5年度は用地取得に向け、物件調査積算、土地鑑定、標準家賃算定を実施します。

● 河川浚渫推進事業

5億550万円

浸水被害の軽減を図るため、高野戸川や舍人調整池などの浚渫（堆積土砂の撤去）を実施します。

環境にやさしく みどり
りと調和した 桶川

【環境・みどり】

● 脱炭素推進事業

1,647万4千円

地球温暖化対策のため、二酸化炭素などの温室効果ガス削減に繋がる取り組みを実施するとともに、住宅用新・省エネルギー機器、生ごみ処理容器を購入する人に対し、補助金を交付します。

● ごみ処理広域化推進事業

1,018万8千円

川島町および桶川市の1市1町によるごみ処理の広域化を推進するため、川島町に協議会を設置し、施設整備に向けた計画策定を行います。

にぎわいと活力ある

桶川

【産業・経済】

● 道の駅推進事業

4,606万1千円

地域の魅力発信・産業の振興・災害時の防災拠点となる「道の駅」の

整備を行います。令和4年度に設計および維持管理・運営を一括して行う事業者と契約を締結したことから、令和5年度は、令和6年度中の開業に向け、設計・建設を実施します。

● おけがわ魅力発信大使謝礼

18万円

「おけがわ魅力発信大使」を任命し、市のイメージや知名度などの向上に向け、積極的に市の魅力を発信します。令和5年度は、今年で26回目を迎えるべに花まつりに参加していただくことで、イベント自体のにぎわいや市の更なる魅力発信につながります。

● べに花の郷づくり事業

1,300万円

べに花をシンボルとした個性あるまちづくりを推進するため、べに花の咲き誇る景観づくりをはじめとする啓発事業を行います。

※各事業は主なものの概要、順不同です。